

平成25年版

高山市の農業



高山市農政部農務課
高山市農業経営改善支援センター連絡会



位置・気象条件

位置と面積

高山市は岐阜県の北部、飛騨地方の中央に位置し、平成 17 年 2 月 1 日に周辺 9 町村と合併し日本一面積の大きい市となった。

中部圏と北陸圏を結ぶ JR 東海高山本線や国道 41 号と福井県福井市から長野県松本市を結ぶ国道 158 号の交差点にあり、名古屋市から 162 ㎞、岐阜市から 136 ㎞、富山市から 88 ㎞、松本市から 92 ㎞の地点にある。

自動車道は東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道や安房峠道路、権兵衛峠道路等により高速道路に連結し、大阪から約 4 時間、東京へ約 5 時間、金沢、名古屋へ約 2 時間でアクセスできる。

標高は 3,190 ㍍（奥穂高岳）から 436 ㍍（上宝町吉野）まで急峻な地形が多く山林が全面積の約 92% を占める。

- ・面積 東西約 81 ㍍ 南北約 55 ㍍ 2,177.67 平方㍍
- ・高山市役所本庁舎の位置 東経 137° 16" 北緯 36° 09" 標高 573 ㍍

気象条件

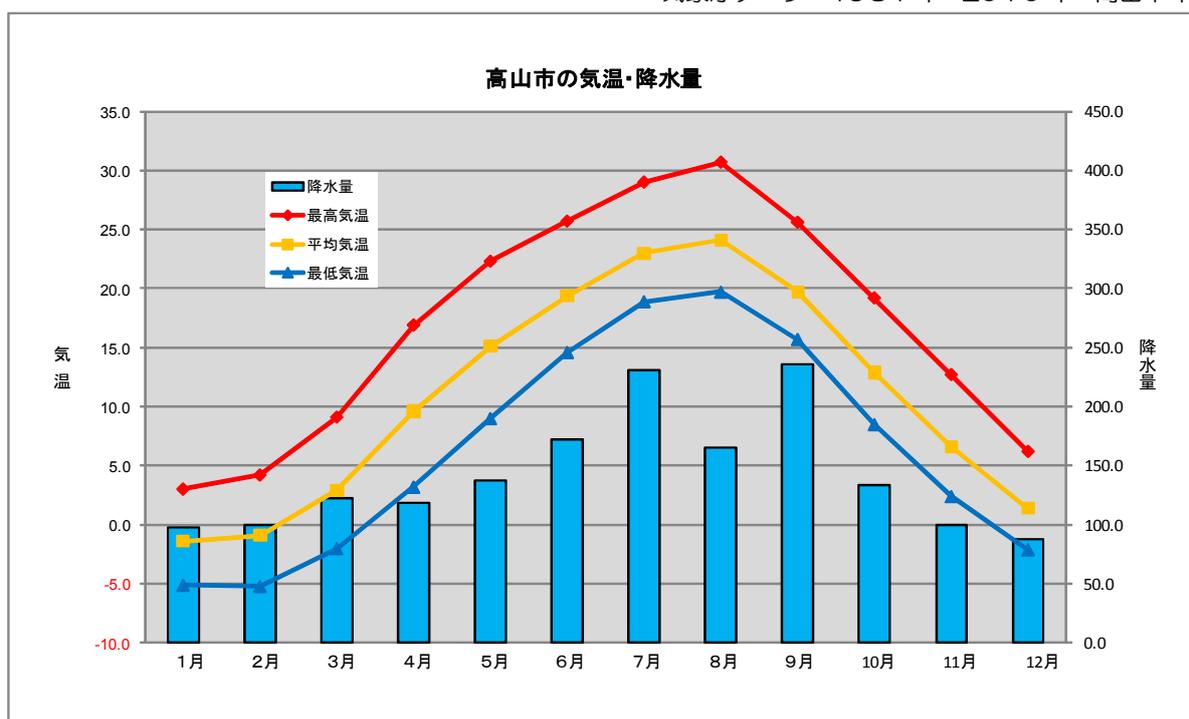
内陸性気候で寒暖の差が大きく、特に夜間の冷え込みが厳しい。

年間平均気温 11.0℃ 年間降水量 1,699.5mm

夏日（最高 25℃ 以上）年間 104.3 日 冬日（最低 0℃ 以下）年間 117.7 日

初霜 10 月 27 日 終霜 5 月 7 日 初雪 11 月 14 日 終雪 4 月 11 日

気象庁データ 1981 年～2010 年 高山平年値



農家

農家戸数

高山市における専業農家率は12.8%、第1種兼業農家率は9.2%でいずれも岐阜県平均値の8.0%、3.2%を大きく上回っている。

総農家数	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	自給的農家
4,486 戸	575 戸	411 戸	1,791 戸	1,709 戸

2010年農林業センサス

認定農業者

高山市では平成7年度から農業経営改善計画の認定を進めており、認定農業者数は563経営体（平成25年4月現在、内法人66経営体）となり、岐阜県内で一番多い。

これら認定農業者の経営改善を進めるため高山市農業経営改善支援センターを設置し、効率的かつ安定的な農業経営の支援を行っている。

農業後継者

農業後継者の組織は高山4Hクラブ、JAひだ青年部、JAひだ高山地区フレッシュミズの会が活動している。

農業後継者育成基金

農業後継者の育成を目的として農業後継者育成基金を造成している。
(200,751千円)

現在、後継者及びその配偶者の海外視察研修費用の一部助成や近代化資金の無利子貸付、各後継者団体の活動助成を基金果実で行っており、後継者の確保と育成に役立っている。

農地

耕地面積

高山市の耕地面積は 4,750 ㌦で、その 66.3%が田である。
一戸当たり平均耕地面積は約 1 ㌦である。

田	3,150 ㌦
畑	1,600 ㌦
合計	4,750 ㌦

2012 年耕地面積調査

中山間地域等直接支払事業

高山市では 95 集落協定が締結され、1,295 ㌦の農地が対象になっている。
各集落では、農業・農村の持つ多面的機能を発揮させるため、棚田の保存、
地域環境の美化、昆虫類の保護などの活動を行っている。



農地・水保全管理支払交付金事業

高山市では 68 地域で協定が締結され、3,089 ㌦の農地が対象になっている。
各集落では、地域住民が一体となって農村地域の資源（農地・農業用水・
溜池等）を保全（長寿命化）するための共同活動などを行っている。

農業生産

高山市の農業生産は、日本一の生産量を誇る「飛騨ホウレンソウ」を始め「飛騨トマト」など共同出荷される高冷地野菜が農業販売額の約47%を占める。

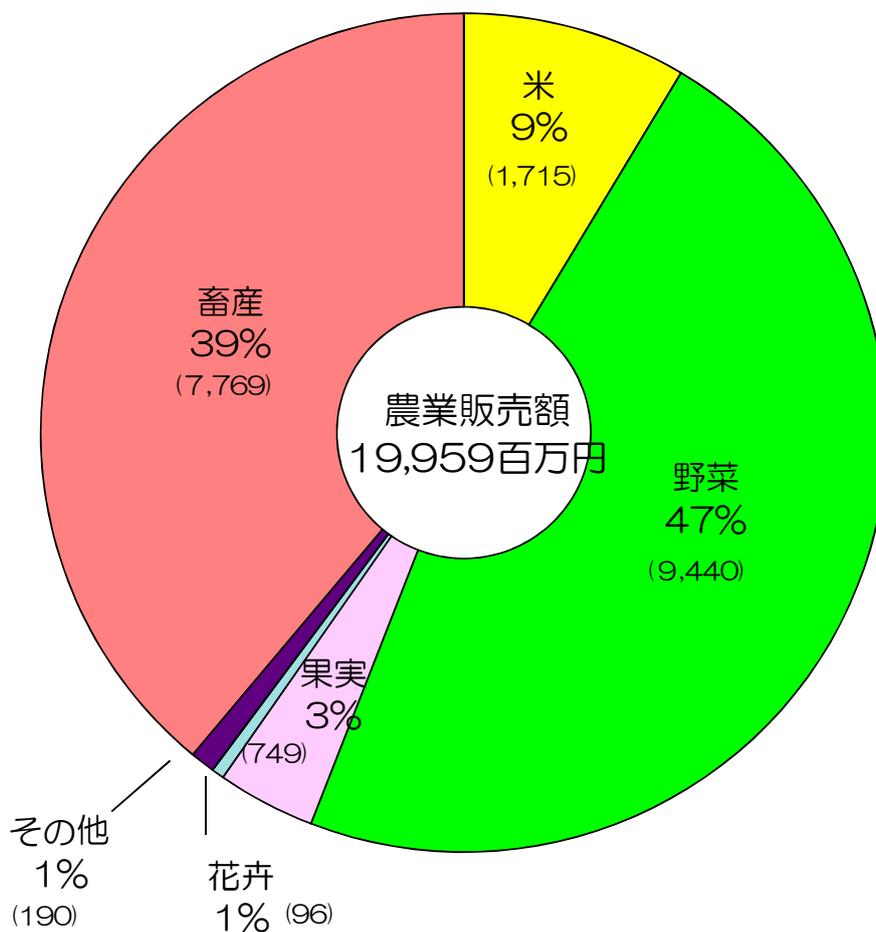
また「飛騨牛」として全国ブランドとなった肉用牛を始めとした畜産が約39%と近年伸びており、米は約9%である。

平成24年高山市の農業販売額

(単位：百万円)

合計	米	野菜	果実	花卉	その他	畜産
19,959	1,715	9,440	749	96	190	7,769

高山市農政部調べ



ホウレンソウ

産地の特徴

高山市では、高冷地の冷涼な気象条件を利用し、春から秋にかけてホウレンソウの栽培が盛んである。

ホウレンソウの栽培は昭和 40 年頃から本格的に始まり、その後当地で開発された雨除け施設栽培（ビニールハウス）による技術の普及と水田転作によりその栽培面積が拡大しており、現在では延べ面積で約 950 ㌶栽培されている。

夏場は生育期間が1ヶ月ほどと短く年間5連作も可能であり、4月から 11月まで連続して京阪神市場を中心に中京市場、京浜市場へ出荷されている。

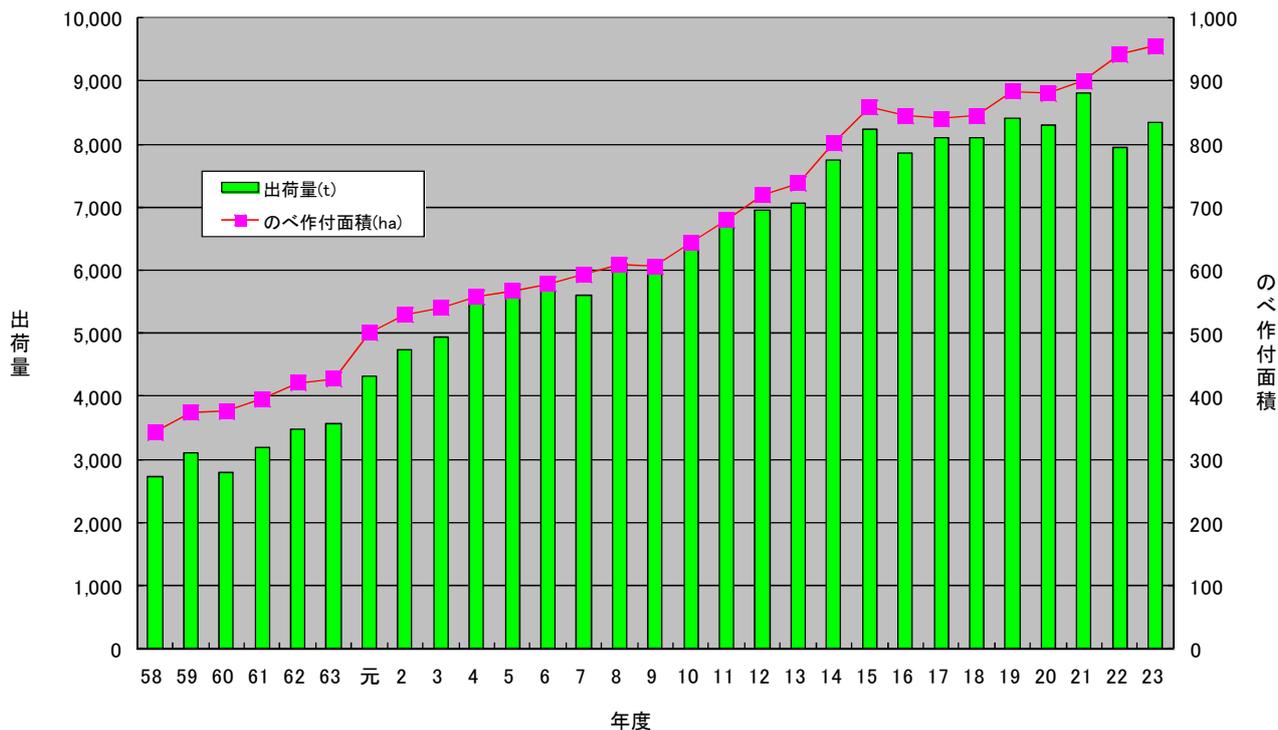
平成 15 年度からは化学肥料と化学合成農薬をそれぞれ従来より 30%以上削減した栽培体系・ぎふクリーン農業 (<http://www.gifu-clean.com>) を取り入れている。



ホウレンソウの年間の栽培体系

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
○	□							
		○	□					
			○	□				
				○	□			
					○	□		
						○	□	
							○	□

年度別ホウレンソウの生産推移



水稻

産地の特徴

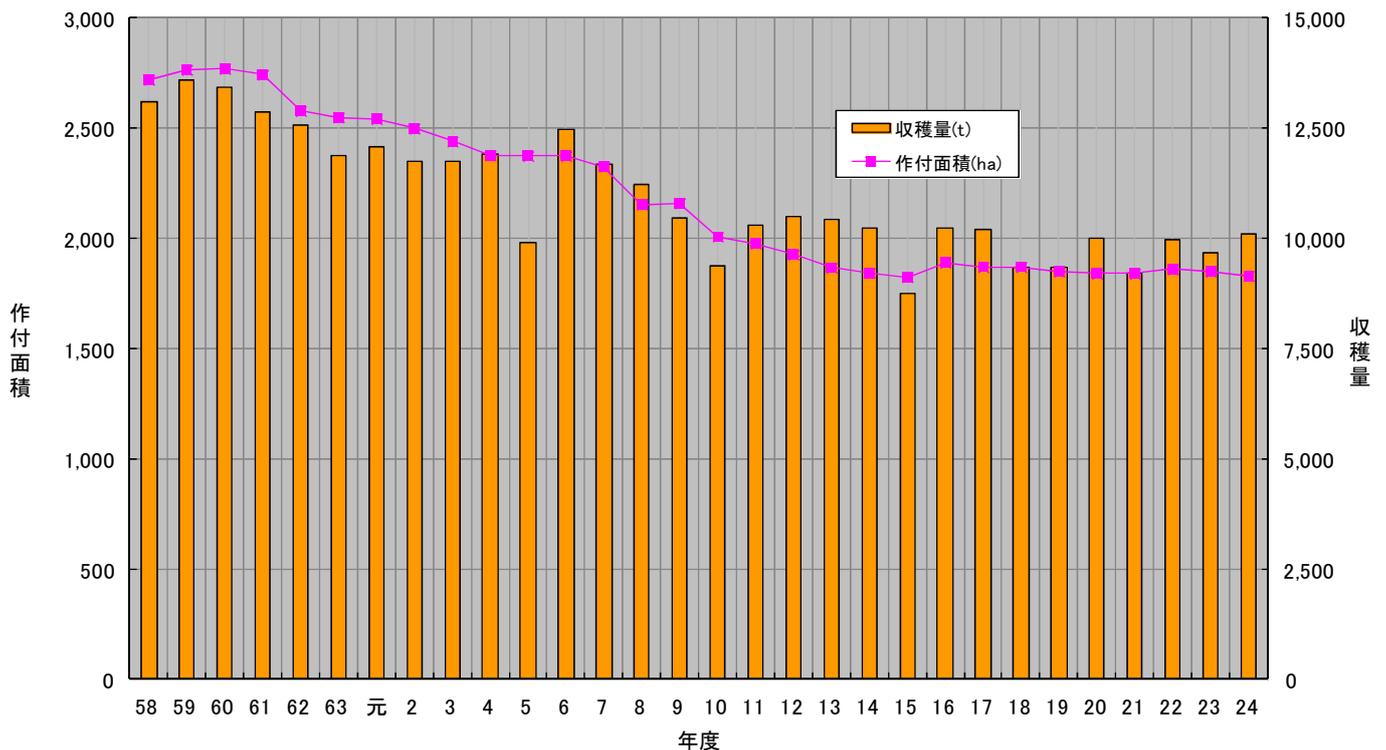
水稻は約 1,830 ㌧を栽培している。

主食用のうるち米として食味の良い「コシヒカリ」を中心に「ひとめぼれ」のほか、もち米の「たかやまもち」、酒米の「ひだほまれ」などを栽培している。

米の食味の良さは全国コンクールなどでも高く評価され、平成 25 年から「飛騨高山おいしいお米プロジェクト」を立ち上げ、食味の良い米の生産と観光との連携による「飛騨産米」のブランド化を推進している。



年度別水稻の生産推移



肉用牛

産地の特徴

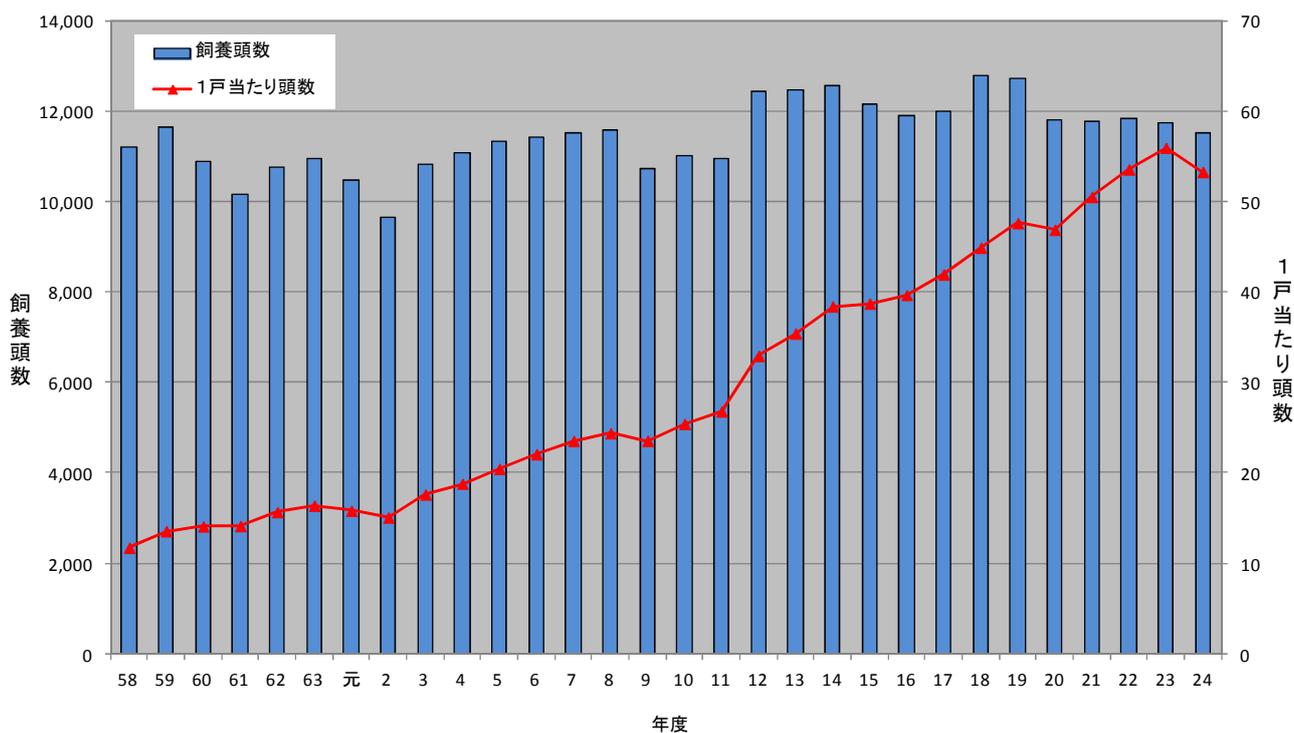
「安福号」を系統とした長年の種雄牛作りと飼育技術の向上により、「飛騨牛」ブランドが確立され、約 220 戸の繁殖、肥育農家により約 11,500 頭を飼育している。

子牛から肉牛まで地域内で一貫生産し、さらに地域内の食肉処理加工施設でおいしい飛騨牛に加工している。

子牛生産のための繁殖牛は、夏山冬里方式により環境のよい牧場に放牧され低コスト生産に努めている。



年度別の肉用牛飼養頭数の推移



乳用牛

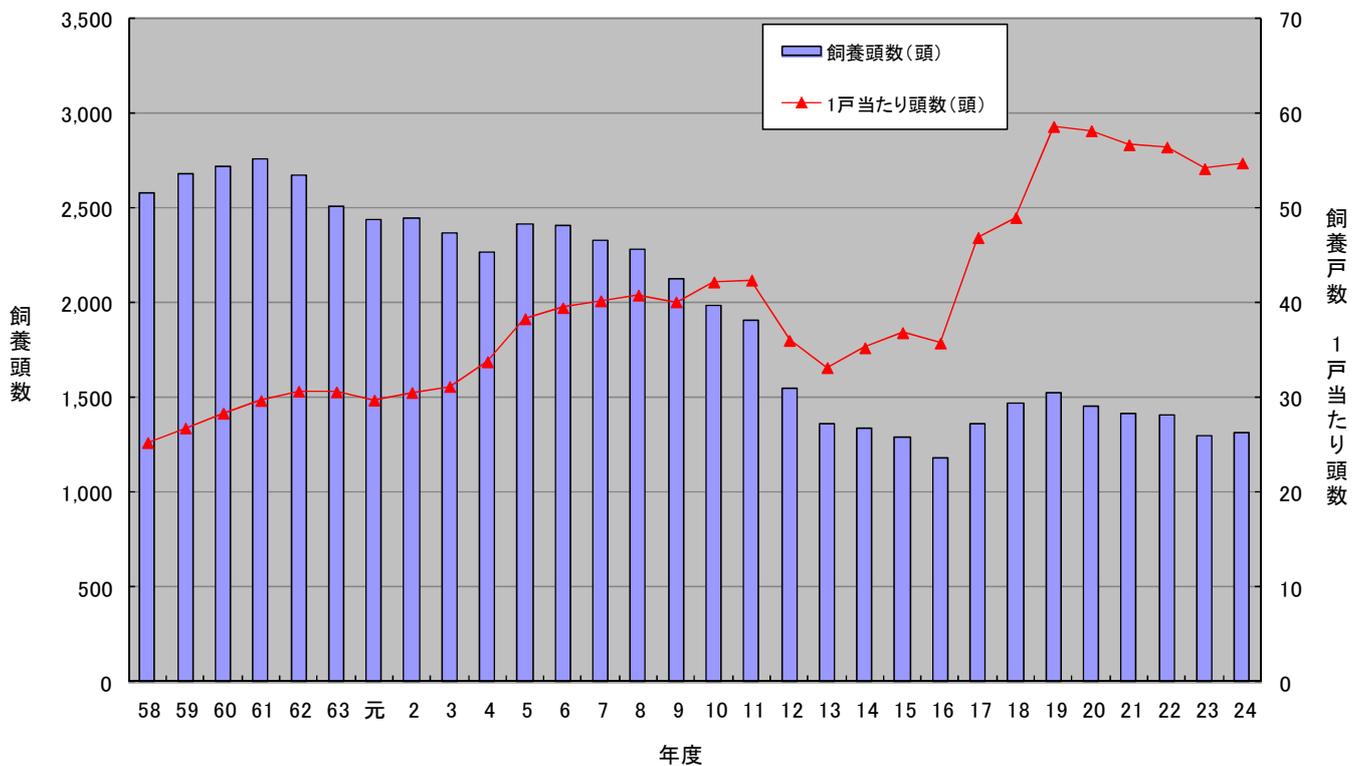
産地の特徴

自然豊かな飛騨の地で生産された生乳は、その日のうちに処理・加工され新鮮な製品が消費者へ届けられる。

24戸の農家により約1,300頭の乳牛が飼育され、年間約10,300トンの生乳を生産している。



年度別乳用牛の飼養頭数の推移



林業

森林の現況

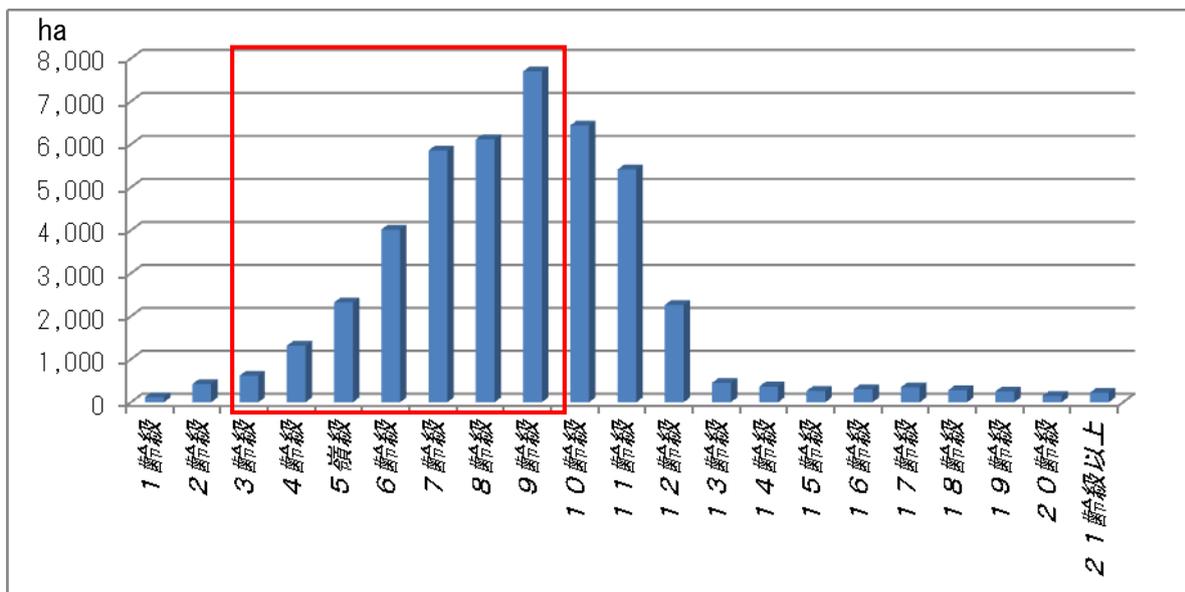
高山市の森林面積は 200,648ha で市域全体の 92.1%を占めている。このうち国有林は 81,155ha と市域森林の 40.4%を占めている。

民有林は 119,492ha で、そのうちスギやヒノキなどの人工林は 45,242ha と 37.9%を占めている。また、このうち間伐を必要とする林齢 11 年生～45 年生（3 齢級～9 齢級）の森林は 27,948ha と民有林人工林の 61.8%を占めており、適切な間伐の実施が課題となっている。

高山市の所有形態別の森林の面積(平成 22 年度 岐阜県森林・林業統計書)

市域 面積 (ha)	森林面積				
	(ha)	国有林		民有林	
		(ha)	(ha)	うち人工林 (ha)	人工林率 (%)
217,767	200,648	81,155	119,492	45,242	37.9

高山市の民有林人工林齢級別面積

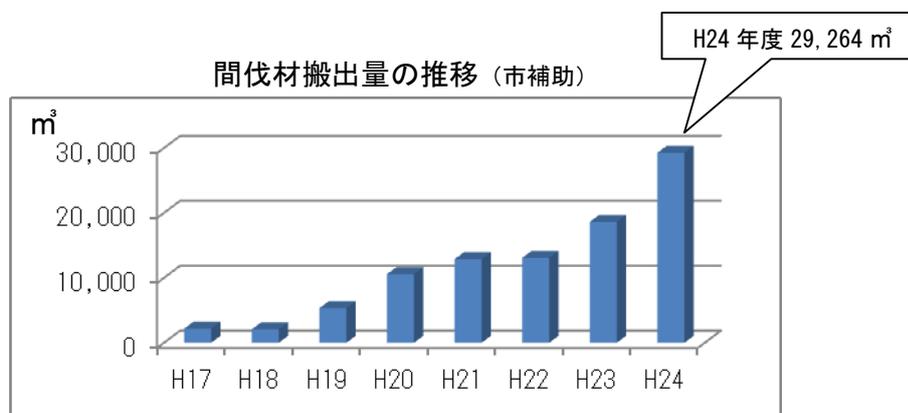
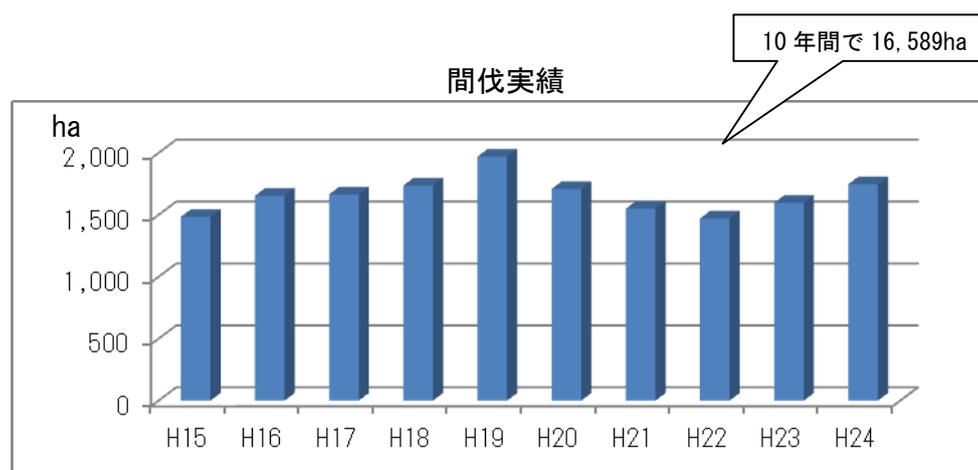


森林整備の状況

間伐及び間伐材の利用

平成 15 年度から平成 24 年度までの 10 年間の間伐実績は 16,589ha と、対象となる森林の約 6 割となっている。

また、間伐材が利用されず森林内に放置されることが多く、資源の有効利用の観点から間伐材の利用拡大が課題となっている。市補助事業（緑の保全事業）を活用した間伐材搬出量は平成 24 年度 29,264 m³となっている。



地域特産物

飛騨紅かぶ

飛騨を代表する漬物「赤かぶ漬け」の原料として栽培されている。



飛騨ねぎ

寒い冬を越し1年間じっくりと育てられており、皮がやわらかくあまみがある。



きんしょう 菌床しいたけ

「飛騨やまっこ」の愛称で親しまれ、農家の冬場の仕事として栽培されている。



飛騨メロン

アールスメロン系のマスクメロンで、あまくてとてもおいしい。



あきしまささげ

まだら模様が特徴のインゲンマメの在来種で、夏まき秋どり栽培されている。



すくな 宿儺かぼちゃ

ヘチマに似た形をしたかぼちゃで、食味が良い。主に丹生川町で栽培されている。



夏ダイコン

高冷地の寒暖の差により、きめが細かくみずみずしい。



タカネコーン

高根町の高原で栽培されるトウモロコシで、とてもあまくておいしい。



飛騨リンゴ

涼しい気候を利用して栽培されており糖度が高く好評である。



飛騨もも

寒暖の差により糖度が高くておいしく日もちも良い。



山ブドウ

山奥に自生していた山ブドウを採取し畑で栽培している。収穫された山ブドウはワインに加工されている。



トルコギキョウ

「飛騨の雪姫」は、良質な白いトルコギキョウで、秋にすばらしい八重咲きとなる。



キク

夏の中輪キクが中心で、特に「ひたこがね飛騨黄金」は市場での評価が高い。



たかはらさんしょう 高原山椒

香辛料の材料として上宝・奥飛騨温泉郷地域で栽培され、香り高い品質は日本一と定評がある。



ソバ

高冷地の特質を生かして栽培され質が良く「飛騨そば」として賞味されている。



えごま

五平餅のたれなどに利用され、飛騨地域の伝統食として欠かせない食材である。



高山市農政部農務課

〒506-8555

岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL(0577)35-3141 FAX(0577)35-3166
